

## ユネスコスクール・ESD研修会in大牟田

今年のユネスコスクール・ESD研修会は、昨年度、大牟田市教育委員会が東京大学と締結した「海洋教育促進拠点としての連携に関する協定」をふまえて、8月23日(水)に下記の内容で実施されます。これからの持続可能な社会づくりに向け、みんなで考え、語り合う場にいきましょう。

○日程【午前の部】

- 10:00 主催者挨拶 大牟田市教育委員会 安田昌則 教育長  
来賓挨拶 大牟田市 副市長 甲斐 茂利 様  
文部科学省国際統括官付ユネスコ振興推進係長 田村 謙治 様  
説明「大牟田市におけるESDの取組」指導室 小宮武士総括指導主事  
10:30 講演「日本におけるSDGsの取組(仮)」 国連広報センター広報官 妹尾 靖子 先生  
挨拶 環境省総合環境政策局環境経済課環境教育推進室 室長 永見 靖 様

【午後の部】

- 13:30 分科会  
第1分科会「防災・地域学習」 (実践発表 3校:大牟田市内・中友小、明治小)  
・指導助言者:福岡教育大学 教授 石丸 哲史 先生  
第2分科会「海洋教育」(実践発表 5校:大牟田市内・みなと小、天領小、天の原小)  
・指導助言者:日本ユネスコ国内委員会委員  
東京大学海洋アライアンス機構 主幹研究員 及川 幸彦 先生  
第3分科会「世界遺産学習」 (実践発表 3校:大牟田市内・駿馬北小)  
・指導助言者:奈良教育大学次世代教員養成センター 准教授 中澤 静男 先生  
第4分科会「地域ESD学び合いフォーラム」  
15:20 総括:金沢大学 環境保全センター 教授  
ESD活動支援センター 副所長 鈴木 克徳 先生  
16:00 閉会 挨拶 九州地方ESD活動支援センター

## ちいきESD講座が開かれました!

前号に引き続き、「ちいきESD講座」の紹介をします。吉野地区公民館では、吉野小の5年生がESDの活動として取り組んでいる、学校と吉野のまちを桜でいっぱいになりたいという「吉野小さくら絆プロジェクト」を応援するために地域の方と「～さくらで繋ぐ～吉野小と地域の絆プロジェクト」に取り組みました。ESDとは、地球規模の課題について、その解決に向けて自から行動を起こす力を身につけるための教育とされていますが、大人の行動も重要かと思えます。今後は、大人にESDの考え方をどうすれば理解してもらえるかが課題かと思えます。

[この稿は、吉野地区公民館長様にご協力いただきました]



## 大牟田市立橋中学校の実践

### 九重の大自然とふれあう

本校の1年生は、6月に九重で自然体験学習を行いました。このプログラムでは、間伐材を活用してウッドチャームを作成したり、蓼原湿原を散策したりするなど貴重な体験を行いました。この体験を踏まえて自然との関わり方について学びました。また、九州電力八丁原地熱発電所を見学し、地熱を活用した発電について学ぶとともに、エネルギー資源が乏しいわが国に生きる私たちが、日常生活の中で、どのように省エネに向けて社会参画できるのかを考えました。



## 大牟田市立駿馬南小学校の実践

### 自分たちが住む町の様々なつながりについての学習

本校では、ESDとして、“福祉”を中核に据えて取り組んでいます。この学習で、地域の人との相互交流を大切に、地域の方々の支援を受けながら、今の自分にできることを考え、実践しようとすることを目標に掲げています。

また、持続可能な社会づくりに必要な能力や態度の中でも「つながりを尊重する態度」の育成をめざして取り組んでいます。その中で子どもたちは、地域の方々、特に高齢者との交流を図りながら共に支え合って生きていくことのすばらしさを感じ取っています。高学年では、一人暮らし高齢者宅を訪問するなどの交流を通して、その生き方に学ぶ活動をしています。

そして、認知症について調べて感じたことや考えたことをもとに、今の自分たちが地域のためにできることについて話し合い、実践し発信する活動を行っています。

